

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	レジリエンス・スポーツセンター		
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日		～ 令和8年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	134	(回答者数) 111
○従業者評価実施期間	令和8年2月13日		～ 令和8年3月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンでの運動療育により、子ども一人ひとりに合った内容のプログラムを提供が可能となり、成功経験から自信につなげることができている。また、保護者が常にレッスン内容を見ることができ、話しやすい環境を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの希望に合わせて、個別レッスン・同室レッスンを分けている 子どもの得意・不得意を見極め、どうやったらクリアできるかを考え、スモールステップで成功につながるよう工夫している 子どもの日常の様子や困り感など情報を取り入れ、支援に活かせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの支援内容を詳細に共有し、つながったレッスンにしていけるように更に職員の振り返り時間を確保していく 毎月の職員研修を更に充実させていき、誰もが高度な専門性を身につけ、知識や経験に基づいた支援を充実させていく 子ども、保護者、スタッフででの関りを大切に支援をしていく。
2	個別レッスンが主体だが、『みんスポ』というネーミングで小集団レッスンを行っている。その小集団レッスンは、子ども達の行事（運動会シーズン）や学校体育の時期に合わせて工夫している。また、幅広い年代の子ども達が集まっている。近くの公園や施設を利用して、広い場所で思いっきり体を動かせる機会を提供することができる。	<ul style="list-style-type: none"> みんスポ（小集団）や野球教室、サッカー教室、ブル教室、その他イベントを開催している。 集団レッスンでもマンツーマンでスタッフが対応することで、集団場面での苦しさがあるお子様にもスモールステップで成功につながるように工夫している 	<ul style="list-style-type: none"> 新人スタッフが加わる場合、暗黙のルール（子どもの活躍が引き立つような配慮や勝ち負けの配慮など）を事前に確認し、全員で共通認識を持ったうえで集団療育に携われるように引き続き情報共有していく 球技や集団生活におけるルールなど、より明確に分かりやすく伝えていけるように工夫した支援を行っていく
3	個別支援計画に基づいて、お子様一人ひとりに合わせた支援内容を考え、提供することができている。	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングで保護者様、お子様のニーズを聞き取りし、それに沿った個別支援目標を立てている 過去の支援記録・個別支援計画を一覧で見ることができると、支援前にはその内容を確認し、その日担当のスタッフが支援内容を組み立てて提供できている 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きモニタリングをしっかりと行いニーズをくみ取ること、お子様に合った個別支援目標を立てていき、達成に向けて支援内容を提供できるように情報共有していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフにより専門性が異なる。	新入社員や職員の育成時間の不足。	事業所内でのワーク実施や、研修会への参加を積極的に行っていく。 事務作業の効率化など支援にかかる時間を増やす。
2	マニュアル類は完備されているが、保護者様への周知が行われていない。 避難訓練なども実施しているが、個別レッスンなので利用者の参加ができていない。	定期的には実施はしていますが、保護者に向けての周知が足りていない。	定期的にHUG等で配信をし、全体への周知をしまいく。 また、利用時（レッスン中）にも避難訓練は実施していきます。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	人員不足のため、兄弟児や地域の子ども達も参加できる「サークル活動（集団）」を休止していて、地域との交流が持ていない。	人員を確保し、「サークル活動（集団）レッスン」を再開できるようにし、令和8年6月～祝日に再開予定になっていません。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 レジリエンス・スポーツセンター

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 134

回収数 111

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	105	5	1		スペースは狭く感じますが、スペースをうまく工夫して使っている。体も大きくなり種目によっては狭さを感じる時もある。	今後もお子様の成長に合わせてスペースの確保や、活動内容を工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	108	3			常に職場が2名ついてくれるので、手厚く感じます。賢やかな配置で安心してます。とても充実している安全面を考えるとパソコン入力とサポートの方の3人体制がいいです。	・今後もマンツーマンレッスンで、手厚く支援できるように尽力してまいります。 ・安全面にもしっかり配慮し、安全に運動できるように体制を整えてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	104	5		2	エレベーターがある安心して慣れてくると分かりやすすぎるので時間を重ねる中で、生活・学校環境に寄せながら、工夫したり自ら質問したり困難な向き合う場面が生まれると生活面ともリンクできそう。	・レッスン中はスタッフが安全確保をしてお対応させていただきます。また、マットなどを活用し、転んでもケガしないように対策していきたいと思ひます。 ・引き続き、視覚的にも分かりやすい環境を整えてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	106	4	1			今後とも安心して通っていただけるよう、掃除や除菌など引き続き行っていければと思います。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	108	3			1人そうとはいえない方もいる先生によって差がある子供の特性を理解して職員間で共有されていて、特性に合った支援やアドバイスをいただいています。個人に合わせて、とても配慮されている	・ワークなど、職員間で学んでいける場を設け、一人一人の専門性の向上を図っていきます。全スタッフに専門的な研修会など学ぶ機会も設けていければと思います。スタッフは日々学ぶ姿勢を大事にしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	108	1		1		プログラムに沿って継続してよりよい支援につなげていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	111				いつもたくさん保護者の話を聞いてもらっています。子の学校の体育や運動会に合わせた種目をカリキュラムに積極的に取り組んでもらっています。	保護者さん、お子さんのニーズに寄り添い、本人にあった計画を立て、しっかり支援できることを大切にしています。引き続き、相談しやすい環境を整えていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	107	1		2		5領域に沿った支援を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	108			1		本人の様子や支援計画に沿った支援が提供できるよう、スタッフで情報共有を徹底して行い、よりよい支援につなげていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	104	5		2	これまでの活動内容や、本人の成長や今の興味、学校の体育の内容などを確認しながら、活動内容を考えてきています。先生方からの提案で、新しい事に子供が積極的に取り組んでいると思います。	同じ種目に偏らないよう、お子様のニーズをくみとりながら他の動きや道具につなげていけるよう工夫していきます。また、様々な動きにチャレンジするきっかけを作っていけるように努めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	33	11	17	48	サービスの特性的に他の子どもとの交流は必要ないので、そのまま良いと思うサークル活動がなくなったため、今はないと思う。イベントや交流の場を作りたい。同室の活動により、ほかの地域のお友達と活動する機会があります。特に必要ないと思ひます。おでかけ等があると参加させてみたい	個別レッスンが主体になっていますが、今後、交流ができる機会を検討していければと思います。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	108			3	必要時に都度丁寧な説明があります。	丁寧な説明を心がけ、引き続き丁寧な説明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	111					丁寧な説明を心がけ、引き続き丁寧な説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	106			2		ペアレントトレーニングは今年度も開催できていないため、開催できるように調整していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	104			2	利用した後は必ずアドバイスを含めて、丁寧なフィードバックを行ってくださっています。 ラインでも相談出来ていいと思います 常に声をかけてもらって、日頃の状況を把握してもらっています。	日々の小さな変化も共有していけるとにスタッフ一同努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	99	8		4		コーチとしての立場で可能な限り有用な助言ができるよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	109			2	子の意見をくみ取れるように、先生方は質問する言葉を色々変えながら丁寧に話しかけてくれます。	来所時の会話を大切に、充実できるように努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	85	6		18		今年度は保護者懇談会の開催が少なくなってしまったため、次年度は開催を増やしていければと思います。また、家族で参加できるような運動イベントの開催を企画していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	98	2		10	相談事につき答えや考えを伝えてくれます。	利用の際に保護者様とお話させていただいております。改めて相談の受け入れができることを周知していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	110	1				利用時に保護者様とお話させていただいております。引き続き、保護者様との情報伝達に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	104	2		3		毎月「月刊レジスボ」やHUGでの配信させていただいております。引き続き、配信していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	109			2		個人情報に関しては徹底しております。改めて厳重な取り扱いをしていきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	79	11		20	すみません。おそらく公開されているか掲示されていると思いますが、閲覧した覚えがなく「わからない」を選択しております。	職員全員で訓練内容は把握しており、定期的に訓練を実施しています。様々なマニュアルを気軽に見て頂けるよう、周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	62	5	1	40	すみません。おそらく定期的に実施されていると思いますが、実際に参加することはないため「わからない」を選択しております。 やったことがないのでわかりません。 月に一回の利用なのでわかりません。 避難訓練に、参加してみたいです(学校では怖がって、参加出来ていないため)	個別レッスンの関係上、訓練は全体で実施することは難しく、保護者様にはその旨ご理解いただけるよう周知いたします。また、実施した際にはお知らせしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100	2		8	本人の希望を通しながら、とても安全に配慮されている	安全確保を維持し、危険な要因は新たに対策を講じていきます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85	5		19	事故等が起きたと聞いたことが無い まだ怪我をしたことがないのでわかりません 23~26されていると思うが、わからない(思い出せない)	安全確保を維持し、危険な要因は新たに対策を講じていきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	109	1			スタッフをととても信頼している	安心して通所できる環境を整えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	110	1			毎回先生が誰か楽しみに通っています とても楽しみにしている 毎回の通所はとても楽しみに通っています。 皆さんのおかげで楽しんで通っています。本当にありがとうございます。 とてもたのしみになっています。 最近は同室を楽しみにしています。	楽しく体を動かし、自信を持って様々なことに挑戦できるように支援していきます。

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	110	1		<p>通い始めた頃より先生達の覇気がなくなっている気がする 大変満足 いつもご配慮いただきありがとうございます◎ いつも親子共々大変お世話になっております。ご支援・ご指導に非常に満足しております。今後ともよろしく願いいたします いつも親身になって見守ってくださることで、親子ともども安心して通うことができ本当に感謝しています。 ごちらの意見や希望を聞いていただいた上で、新しい取り組みの提案もしていただいて、できることが広がっています。 いつもありがとうございます。 今までのやり取りやモニタリング会議等の内容が職員間でちゃんと共有されているようで、活動内容や支援内容に活かされて、また普段の声かけでもしっかり把握されている感じがしているので、安心して利用しています。</p>	<p>・ひとりひとりのスタッフが意識し、明るく笑顔でレッスンしていきます。 ・引き続き、お子様の成長をサポートしていただけるように、スタッフの体調・健康管理を徹底していきます。 ・体を動かす楽しみを知り、一緒に試行錯誤しながら成功体験を積み、自己肯定感を高め、様々なことに挑戦するレジリエンス力を育てていけるよう支援していきます。</p>
-----	----	------------------	-----	---	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		レジスポセンター				公表日	令和8年3月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	年齢ややりたい動きに合わせて公園なども活用している	・子どもによっては狭い時もあると感じる。 →高学年の子は近隣の公園も活用していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		・職員採用急務 ・配置数はもう少しスタッフがいた方がより安心した環境を提供できると思います。 ・運動療育がメインなので、子ども達が安全に通える職員を配置できるというなと感じる。 ・職員の体調不良等の急な欠席で配置数が不足することはあります。 →利用者様に安心してご利用いただけるようこれからも努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・エレベーターがあるのはいいところ ・古い建物で構造上どうにもならないこともありますが、スタッフみんなで工夫できていると思います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		カーテンのカビやほごりが気になる時がある。 →カーテンをすべて新品にする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別レッスンなので、普段から個別が確保できている。また、相談室もあります		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・個別レッスンでは、記録の確認、目標設定、スタッフで確認など行っています。 集団レッスンの際には、みんなで打ち合わせを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		月2回ほど事業所ミーティングを行っています。また、終礼でその日の申し送りをしっかり行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		分からない →外部評価できていないので、次年度しっかり行っていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		所内研修で補っている		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			職員間で検討したり、意見を出し合う時間の確保をしていきたい。そのためには、日々の書類作業を効率よく行いたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			アプリを使用していつでも共有できるようになっている。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	その日によってやっぱり、やらなかったり	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	2		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	保護者のアセスメントに基づく	分からない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	3	保護者からの情報共有に基づく	分からない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	分からない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	分からない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		地域交流はしていないと思う
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		分からない
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	今年度は保護者懇談会の開催は少なかったもので、次年度は毎月開催できるようにしていきたい。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		保護者からの情報に基づく	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年に一度、虐待研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				